

AOC Holdings, Inc. (TSE:5017)

---



# 2013年3月期第2四半期決算説明会

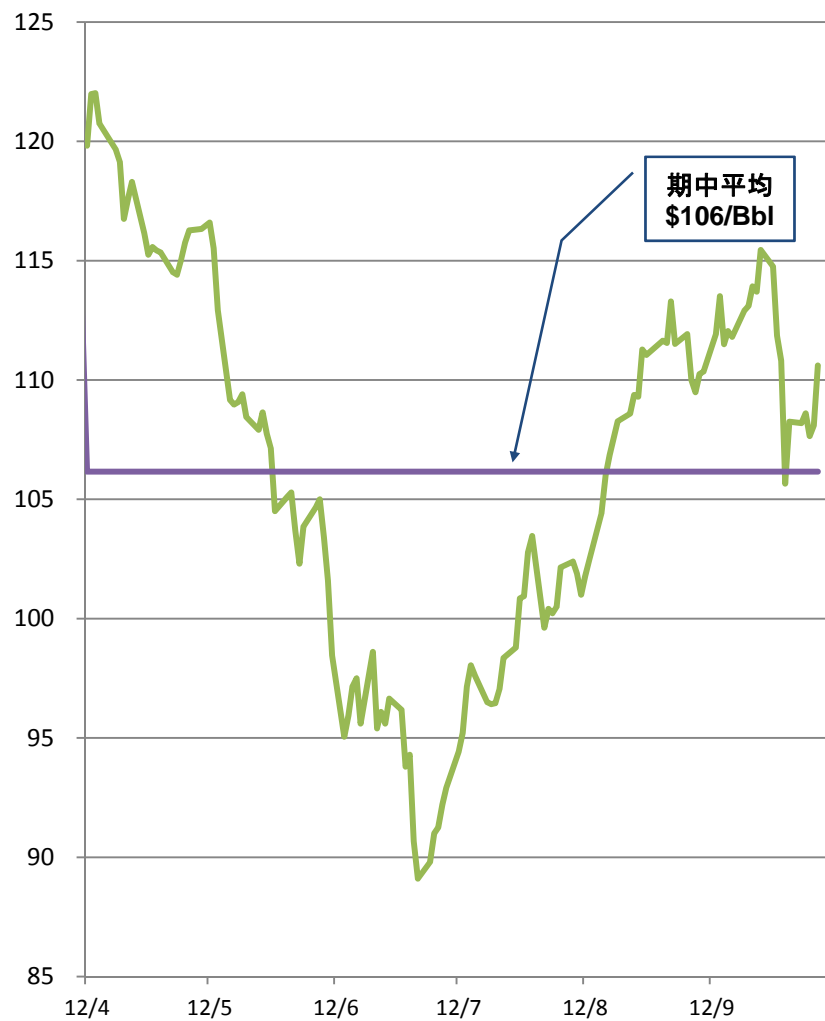
2012年11月13日

AOCホールディングス株式会社

# 原油価格および為替レート推移

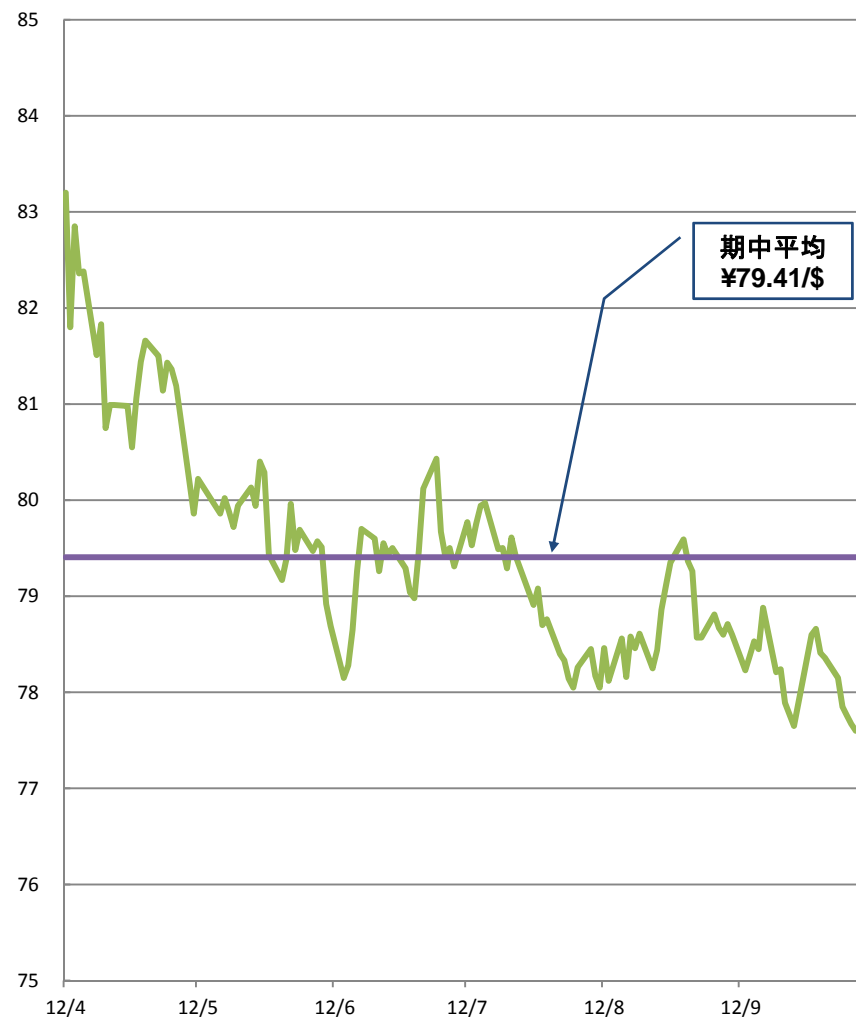
ドバイ原油価格

ドル/バレル



為替レート(TTM)

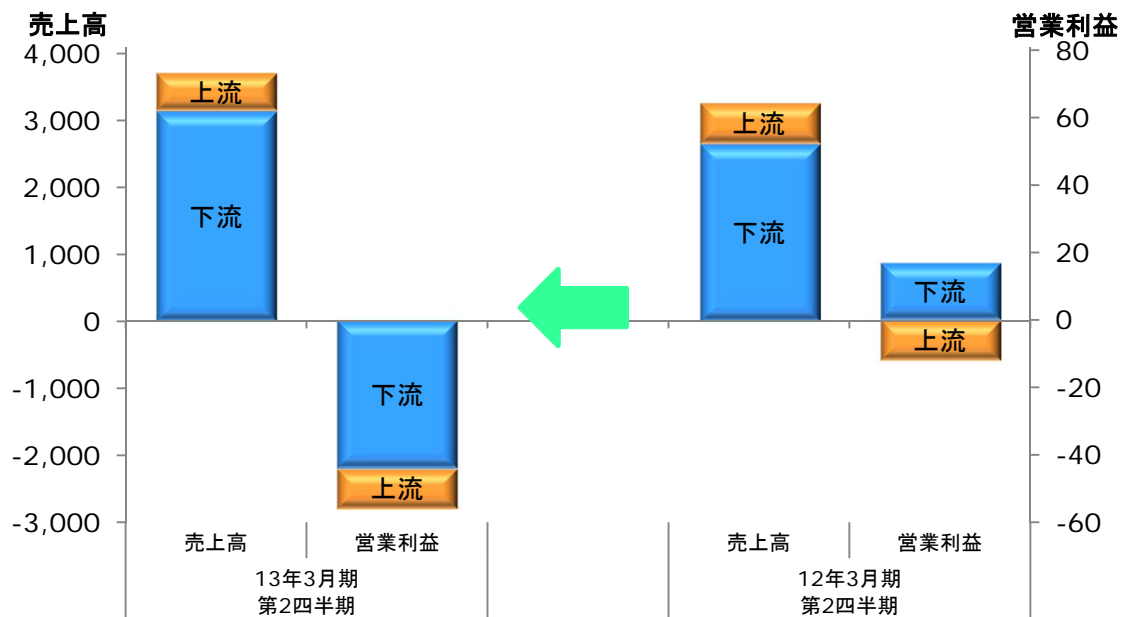
円/ドル



# 13/3月期第2四半期 連結決算の概要

(単位:億円)

	13年3月期第2四半期 \$106.3/Bbl ¥79/\$			12年3月期第2四半期 \$108.9/Bbl ¥80/\$			増減額 △\$ 2.6/Bbl △¥1/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	568	3,142	3,711	611	2,651	3,262	△42	491	448(14%)
営業利益	△12	△44	△56	△12	17	4	0	△61	△60 (-)
除在庫影響		2	△9		32	19		△30	△29 (-)
経常利益	△25	△59	△84	△15	0	△14	△9	△59	△69 (-)
当期純利益	△106	△55	△161	△13	0	△13	△92	△55	△147 (-)



# 原油販売量/販売価格

	販売量(千バレル/日)			販売価格(\$/バレル)	
	13年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	増減率(%)	13年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期
クウェイトとの売買契約による購入原油 (カフジ原油)	37.9	38.9	△3%	103.4	106.5
権益原油 (エコフィスク原油) ※	0.1	0.2	△50%	109.9	112.2
合 計	<b>38.0</b>	<b>39.1</b>	<b>△3%</b>	—	—

※ 1-6月

# 石油製品販売量

単位: 千KL

	13年3月期第2四半期	12年3月期第2四半期	増減率(%)
ガソリン	1,021	885	15.4%
ナフサ	147	112	31.3%
ジェット燃料	383	541	△29.2%
灯油	150	57	163.2%
軽油	712	723	△1.5%
A重油	59	43	37.2%
C重油	691	433	59.6%
(内電力向け)	(645)	(388)	(66.2%)
ベンゼン	107	75	42.7%
キシレン	156	139	12.2%
プロパン・プロピレン	96	68	41.2%
ピッチ	193	159	21.4%
その他	300	103	191.3%
小計	4,022	3,342	20.3%
ジョイント・バーター	165	191	△13.6%
合計	4,188	3,533	18.5%
原油処理量	4,141	3,494	18.5%

# セグメント別売上高/利益

内部取引 消去後 (億円)	13年3月期第2四半期		12年3月期第2四半期		増 減	
	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売	石油・ガス 開発/販売	石油 精製/販売
売上高	568	3,142	611	2,651	△42	491
セグメント 利益	△25	△59	△15	0	△9	△59

		増加要因	減少要因
売上高	石油・ガス 開発/販売		販売価格の下落 △3% 販売数量の減少 △3%
	石油 精製/販売	販売数量の増加 19%	販売価格の下落 △1%
セグメント 利益	石油・ガス 開発/販売		為替差損益の増減 △10億円
	石油 精製/販売	化成品マージンの改善 +3億円	在庫影響 △31億円 石油ピッチマージンの悪化 △30億円

# 第1四半期に発生した特別損失

(百万円)

イメ油田に係る固定資産の減損	7,947
(ノルウェー税制による税金還付見込額)	(3,162)
(実質損失額)	(4,785)
NWO鉱区に係る損失引当	4,019
特別損失合計	11,966
(実質損失額合計)	(8,804)

# 連結貸借対照表の主な増減項目

単位: 億円

	12年9月末	12年3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,209	2,617	△407	棚卸資産 △215 売掛金 △94 未収入金 △25 現預金 △24
固定資産	1,364	1,482	△117	
有形固定資産	1,103	1,203	△99	建物及び構築物 △70 機械装置及び運搬具 △34
投資その他の資産	248	263	△15	探鉱開発投資勘定引当金 △40 投資有価証券 △5 繰延税金資産 37
<b>資産 合計</b>	<b>3,574</b>	<b>4,099</b>	<b>△525</b>	
流動負債	2,135	2,496	△361	買掛金 △299 短期借入金 △15 未払金 △69 未払揮発油税 73
固定負債	645	655	△9	
<b>負債 合計</b>	<b>2,781</b>	<b>3,151</b>	<b>△370</b>	
純資産合計	793	947	△154	利益剰余金 △166 為替換算調整勘定 12
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,574</b>	<b>4,099</b>	<b>△525</b>	



# 連結キャッシュ・フローの状況

単位: 億円

	13年3月期 第2四半期	12年3月期 第2四半期	13年3月期第2四半期要因説明	
営業活動によるCF	52	△59	税前利益	△205
			仕入債務減少	△299
			棚卸資産減少	215
			売上債権減少	94
			減損損失	79
投資活動によるCF	△31	△6	固定資産取得	△31
財務活動によるCF	△53	72	短期借入金減少	△15
			長期借入金減少	△32
			配当金支払い	△4
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	△0		
現金及び現金同等物の増減	△32	6		
現金及び現金同等物の期首残高	180	173		
現金及び現金同等物の期末残高	148	180		

AOC Holdings, Inc. (TSE:5017)

---



# 2013年3月期通期業績見通し

# 13年3月期下期 事業環境・事業計画の概要

## ▶ 通期見通しの前提

- ◆ 原油価格: ドバイ原油 \$106/Bbl (下期: \$105/Bbl)
- ◆ 重軽格差: \$3.2/Bbl (下期: \$3.5/Bbl)  
(アラビアンライトとアラビアンヘビーの価格差)
- ◆ 為替レート: 80円/\$ (下期: 80円/\$)

## ▶ 事業計画

### 上流事業

- ・ 進行中の開発案件の課題への対処
- ・ エンジニアリング・技術調査関連事業の推進
- ・ 原油販売計画: 39.7千バレル/日

### 下流事業

- ・ 袖ヶ浦製油所の安定操業維持
- ・ 電力用C重油の需要変動に対する装置の柔軟かつ機動的な運用
- ・ 石油製品販売計画: 8,486千KL

# 13年3月期 通期原油・石油製品販売量

原油		13年3月期 (計画)	12年3月期	増減率 (%)
(千B/D)	カフジ原油(売買契約)	39.6	40.7	△3%
	北海原油	0.1	0.2	△50%
	原油計	39.7	40.9	△3%
石油製品				
(千KL)	ガソリン	1,979	1,808	9%
	ナフサ	364	325	12%
	中間留分	2,586	2,818	△8%
	C重油 (内電力向け)	1,424 (1,348)	1,172 (1,066)	22% (26%)
	ベンゼン・キシレン	536	474	13%
	その他	1,220	844	45%
	小計	8,115	7,447	9%
	ジョイント・バーター	370	354	5%
	石油製品計	8,486	7,801	9%
	原油処理量	8,239	7,609	8%

# 13年3月期 通期連結業績見通し

(単位: 億円)

	13年3月期 見通し \$106.0/Bbl ¥80/\$			12年3月期 実績 \$110.1/Bbl ¥79/\$			増減額 △\$ 4.1/Bbl ¥1/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計 (増減率)
売上高	1,205	6,244	7,450	1,293	5,723	7,016	△88	521	434 (6%)
営業利益 除在庫影響	△20	50 94	30 73	△22	75 65	52 43	2	△25 29	△22 (△43%) 30 (70%)
経常利益	△20	20	0	△29	42	13	9	△22	△13(△100%)
当期純利益	△103	28	△74	△9	43	33	△93	△14	△107 (-%)

## 営業利益の増減要因

	増加要因		減少要因	
上流				
下流	石油製品マージンの改善	+40億円	在庫影響	△53億円
	化成品マージンの改善	+26億円	石油ピッチマージンの悪化	△41億円

# 補足資料

## 原油価格・為替変動の経常利益への影響額

	基準	上流		下流	
原油価格 \$1/バレル下落に付き	105ドル	原油販売	△0.0億円	在庫影響	△4.0億円
				石油ピッチ	+2.0億円
為替 ¥1/\$円高に付き	80円	為替差損	△2.5億円	在庫影響	△5.5億円

(注) 石油ピッチ・マージンは通年(1年間)の影響額  
製品価格は原油価格に連動するものとしている。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問合せ先：  
IR・広報部 伊藤、富岡